



環境会計について

「環境会計」とは、企業が環境保全に投じたコストとその活動により得られた効果を把握するための会計手法です。より効率的かつ効果的な推進を目指しています。



環境保全活動の
効果を見える化

環境保全コスト

2016年度は、札幌工場で照明のLED化や節水設備の更新、空調の効率化等、省エネ設備の投資を行いました。新事業所においても、太陽光発電システムや風力発電システム、LED照明等の設備を積極的に導入しました。
また、廃棄物処理委託業者の視察や事業所・グループ会社を対象に廃棄物管理業務点検を実施し、廃棄物の適正処理に向けた取り組みを継続しています。

マテリアル バランス

マテリアルバランス(物質収支)とは、事業活動において必要とされる資源・エネルギーの量(インプット)と、それに伴う廃棄・排出量(アウトプット)を表したものです。当社では生産活動における環境負荷を把握した上で、これらの削減に取り組んでいます。

環境効果

「ピークシフト自販機」などの省エネ自動販売機の積極的な投入により、消費電力の削減を進めることでCO₂の削減に努めました。また、資源の循環利用の鍵となる再資源化の取り組みとして、廃棄自動販売機や空容器のリサイクルを積極的に推進し、廃棄物の削減、環境負荷低減に積極的に取り組んでいきます。

●環境保全効果

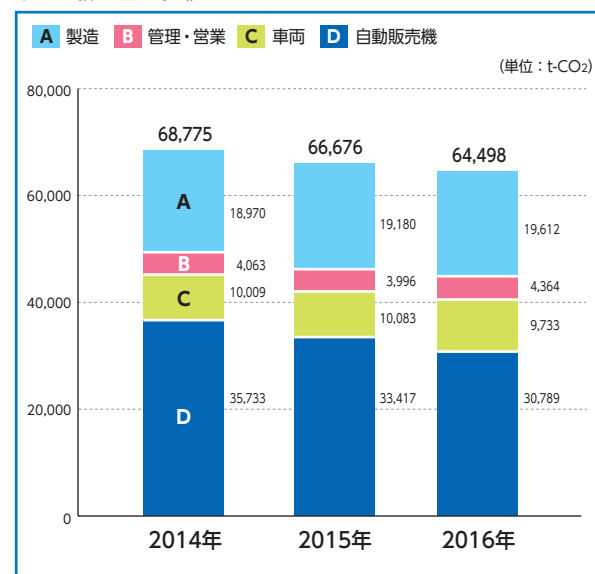
項目	単位	2014年		2015年		2016年	
		実績値	実績値	実績値	対前年増減率		
総エネルギー使用量(熱量換算)	GJ	1,468,362	1,419,839	1,367,717	-3.7%		
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	68,775	66,676	64,498	-3.3%		
NOx排出量	燃焼設備	t	7.2	7.2	7.7	6.4%	
	車両	t	63.9	62.9	61.1	-2.9%	
水使用量	m ³	1,246,124	1,254,841	1,282,700	2.2%		

●環境保全対策に伴う経済効果

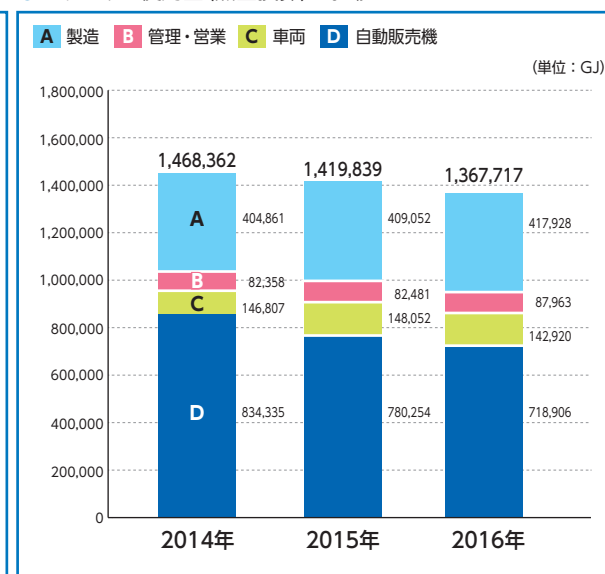
(単位:千円)

内容	2014年	2015年	2016年
リサイクルにより得られた有価物の売却額 (自動販売機、缶、PET、プラスチック、古紙等)	51,287	43,512	25,715

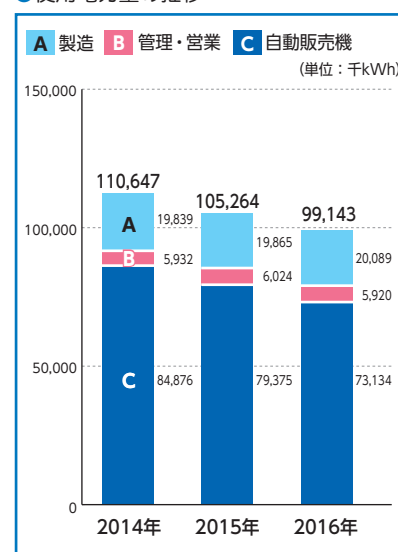
●CO₂排出量の推移



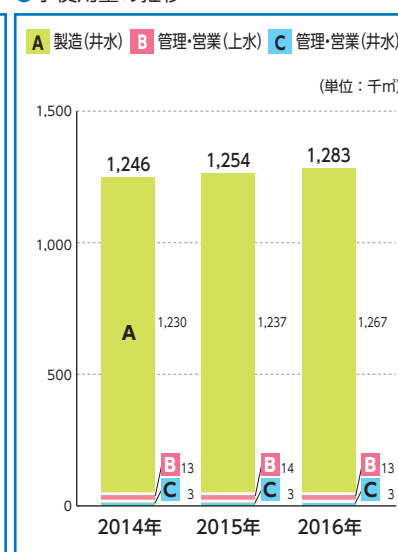
●エネルギー使用量(熱量換算)の推移



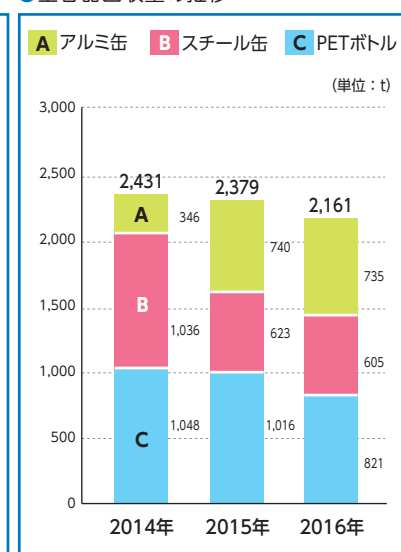
●使用電力量の推移



●水使用量の推移



●空容器回収量の推移



●集計方法について

- CO₂は電力・燃料より、NOx・SOxは燃料より算出しています。(SOxは排出量が微量であるため、環境保全効果の表中には記載していません。)
- 燃料由来のCO₂排出量は、「地球温暖化対策推進法施行令」に基づく換算係数より算出しています。
- 電力由来のCO₂排出量は、電気事業者連合会のCO₂排出原単位(2004年度)より算出しています。
- NOx排出量は、環境省「環境活動評価プログラム」の排出係数より算出しています。

- SOx排出量は、燃料の組成より理論値を用いて算出しています。
- 管理・営業の項目には、物流倉庫の数値を含めています。
- 車両の項目には、敷地内で使用するフォークリフトおよび当社製品等を運搬している外部委託車両の燃料使用量を含めています。
- 製造(井水)は製造量と連動しています。

●環境保全コスト

(単位:千円)

項目	主な取り組みの内容	2015年		2016年	
		投資額	費用額	投資額	費用額
1.事業エリア内コスト	計	73,483	122,579	151,013	104,001
(1) 公害防止コスト	工場排水処理 他	38,861	57,405	74,536	30,294
(2) 地球環境保全コスト	工場節水設備・省エネルギー設備 他	25,830	14,116	49,326	15,734
	自動販売機のフロン回収・破壊	265	15,210	245	14,795
	低公害車導入(天然ガス車・ハイブリッド車)※	0	374	0	4
(3) 資源循環コスト	各事業所の廃棄物の処理・リサイクル	8,527	32,922	26,906	41,338
	自動販売機の処理・リサイクル	0	2,552	0	1,836
	計	0	102,274	0	91,866
2.上・下流コスト	空容器の回収・リサイクル	0	26,555	0	24,137
	空容器回収ボックス・空容器回収用ポリ袋	0	40,194	0	35,983
	再商品化委託費 他	0	35,525	0	31,746
	計	0	34,490	0	32,030
3.管理活動コスト	環境負荷の測定	0	21,823	0	21,805
	EMS構築・運用、環境コミュニケーション	0	12,667	0	10,225
	計	0	16,068	0	14,047
4.社会活動コスト	業界団体活動、環境支援活動 他	0	15,548	0	13,527
	本社構内緑化保守	0	520	0	520
	合計	73,483	275,411	151,013	241,944

※各年度にハイブリッド車を導入したリース費用

●マテリアルバランス

